

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 木 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	法と政治 (欧州統合の政治) Law and Politics (The Politics of European Integration)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員:和達 容子 /Eメールアドレス: /研究室:環境科学部棟 3-305 /オフィスパワー:水曜日 12:30 ~ 13:30			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 欧州統合の話をつかきかけとして、日常的に社会および世界の動きに知識と理解をもつこと。 授業方法: 講義形式とする。必要に応じてビデオ教材などを用いる。 授業到達目標: EU の持つ理念的な意義と実際を理解し、現在の欧州政治や国際政治との関係を説明できるようにする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 欧州連合を主に歴史的経緯から解説することにより、欧州連合(EU)の意味と欧州政治の現状を理解してもらおう。さらに、EUを題材として、国家および外交・国際協力の役割について考えてもらう。 第1回 授業の進め方について 第2回 欧州統合の歴史 第2次世界大戦後の欧州秩序再編成 第3回 欧州統合の歴史 欧州石炭鉄鋼共同体の成功と欧州防衛共同体の失敗 第4回 欧州統合の歴史 欧州経済共同体の設立 第5回 欧州統合の歴史 ド・ゴール外交と欧州統合 第6回 欧州統合の歴史 経済停滞と通貨統合への布石 第7回 欧州統合の歴史 域内市場統合への道 第8回 欧州統合の歴史 冷戦終結と経済通貨同盟 第9回 欧州統合の歴史 大欧州の時代 第10回 最近の状況と議論 国際関係から域内政治へー新しい機構としての課題 第11回 最近の状況と議論 国際政治の中のEU 第12回 最近の状況と議論 その時の話題を取り上げる 第13回 まとめ:第2次世界大戦後の国際政治と欧州統合 第14回 予備日 第15回 定期試験			
キーワード	欧州、国際機構、政治、外交、国家		
教科書・教材・参考書	教科書は指定しない。参考書としては以下を挙げておく。後は授業中適宜紹介する。 ・ 脇坂紀行『大欧州の時代 ブリュッセルからの報告』(岩波新書、2006年)。 ・ 田中素香『ユーロ:その衝撃とゆくえ』(岩波新書、2002年)。 ・ 加藤秀治郎/渡邊啓貴『国際政治の基礎知識』(芦書房、2002年)。		
成績評価の方法・基準等	期末試験(100%)。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	授業の進め方については第1回目の授業で説明する。		
備考(準備学習等)			